

里親制度普及啓発ポスター展

入場無料

会期 10月23日(金)▶31日(土) 10:00~18:50(31日は15:00まで)

会場 美大サテライトセンター(フォンテAKITA6階)

コミュニケーションデザイン専攻の3年生25人が、秋田赤十字乳児院と共同制作したポスターを展示します。問い合わせ▶美大サテライトセンター☎(893)6128



30人 申込▶10月5日(月)9:00から中央市民SC☎(888)5654

みんなの掲示板①

◆あきた若者サポートステーション「しごと塾」 働きたいと思っ
ていても、あと一歩が踏み出せない
おおむね15~49歳のかたが対象。
毎月10人までの登録制で、自分の
能力を知る、人と関わるなど就職
に向かうための自分をつくるプロ
グラムを行います。日時▶毎週水曜
・金曜、9:00~17:00
会場▶文化会館 申込▶参加希望
月の前月末までにあきた若者サ
ポートステーション☎(853)4367

◆税務セミナー

日時▶10月15日(木)13:30~16:30
会場▶秋田ビューホテル
受講料(テキスト代含む)▶2,000
円(秋田北および南法人会会員は
1,000円) 定員▶50人
申込▶秋田北法人会☎(845)8078

催し

秋のファミリーキャンプ

太平山自然学習センターなどを会
場に、ハイキングや自然素材を使
ったリース作り、キャンドルサ
ービス、ピザ作りなどを行います。
秋田駅東口から無料送迎バスあり。
対象▶中学生以下のお子さん
とその家族 日時▶11月7日
(土)13:00から8日(日)13:30
まで
参加費▶1家族2,500円と食費1
人2,700円(就学前2,200円)
定員▶8家族(定員を超えた場
合は、初参加を優先した上で抽選)
申込▶往復はがき(1家族1通)

に、催し名、住所、全員の氏名・
年齢、電話番号を書いて、10月
3日(土)から12日(月)(必着)ま
で、〒010-0824 仁別字マンタ
ラメ227-1 太平山自然学習セン
ター☎(827)2171

市民協働ミーティング2020

テーマは「ウィズコロナ時代の市民
活動を考える」。対象▶地域貢献
に取り組んでいる団体や企業・市民
のかた 日時▶10月18日(日)10:00
~13:00 会場▶あきた文化産業
施設「松下」 定員(抽選)▶20人
申込期限▶10月11日(日)。申込
方法は、市ホームページをご覧
ください(広報ID番号 1026553)
問▶中央市民SC☎(888)5642

みんなで歌おう!!

歌い方を学び、懐かしい日本の唱
歌や外国の歌を歌います。日時▶
10月22日(木)14:30~16:00
会場▶南部市民SC2階地域文化
ホール(御野場) 先着▶30人
申込▶10月5日(月)9:00から南
部市民SC別館☎(853)5735

あきた次世代エネルギーパーク施設見学

南部市民SC別館(牛島)で事前学習
をした後、バスで移動し、バイオ
マス発電、風力発電、地中熱ヒ
ートポンプ、太陽光発電の施設を見
学します。
日時▶10月12日(月)9:30~14:30
昼食代▶500円 先着▶10人
申込▶10月5日(月)9:00から南
部市民SC別館☎(853)5735

資料展 新聞連載小説を読む!

秋の読書週間にあわせた企画資料

展。明治から現代まで、新聞各紙
に掲載された連載小説やその作家
についての展示と、関連図書の
貸し出しを行います。期間▶11月
15日(日)まで実施中(ただし月曜
日は休館日) 会場・問▶ほくとライ
ブラリー 明德館☎(832)9220

市民スポーツ祭「弓道(少年の部)」

日時▶11月3日(火)9:00~
会場▶県立武道館弓道場 申込▶E
メールで10月20日(火)までに秋
田市弓道連盟の小松原さんへ。
Eメール akitashi_kyudo@yahoo.co.jp
問▶☎(889)6789

みんなの掲示板②

◆秋田市の水生生物 水槽・パネル展示
市内に生息する絶滅危惧種のゼニ
タナゴやシナイモツゴを展示。日
時▶10月12日(月)から16日(金)
まで、8:30~17:15 会場▶市役所
1階市民ホール 問▶NPO法人秋田
水生生物保全協会☎(827)3407

◆秋田美人街道フォーラム 「発
酵食品は才食健美」と題した講演
など。日時▶10月17日(土)13:00~
15:00 会場▶秋田キャッスルホ
テル4階矢留の間 定員▶120人
問▶NPO法人秋田21女性の会事務
局☎090-2985-0598

◆アルヴェ落語会 柳亭小痴楽の
独演会。乳幼児の同伴は不可。
日時▶10月17日(土)18:30開演
会場▶アルヴェ2階多目的ホール
入場料(全席指定)▶前売券3,000
円、当日券3,500円(前売券完
売の場合当日券はなし) 前売券販
売所▶秋田チケットアルヴェ店(1
階) 問▶秋田特選落語会
☎090-3469-0199

情報チャンネルaに掲載した内容は、新型コロナウイルスの影響により、中止または変更になる場合がありますので、実施の有無については、事前に主催者にご確認ください。
 なお、会場ではマスクを着用するなど、感染予防にご協力をお願いします。

■文中「SC」はサービスセンターの略。

講座

木版画でつくる年賀状

木版画の基本を学び、年賀状を作ります。

対象▶①一般の部・多色刷(高校生以上で両日受講できるかた) ②小学生の部・単色刷(保護者同伴) **日時**▶①11月10日(火)・11日(水)、10:00～16:00、②11月14日(土)9:30～12:30 **会場**▶赤れんが郷土館 **参加費**▶①600円 ②300円 **定員(抽選)**▶①8人 ②6人 **申込**▶はがきに、講座名、住所、氏名・年齢(小学生は学年と保護者名も)、電話番号を書いて、10月3日(土)から15日(木)(必着)までに、〒010-0921 大町三丁目3-21 赤れんが郷土館☎(864)6851

さとぴあの農山村体験講座

会場は上新城の農山村地域活性化センターさとぴあ(③は河辺岩見の「岩見三内サロン」)。申し込みは、10月5日(月)10:00からさとぴあへ。☎(893)3412 (開催日時、参加費、定員の順で記載)
①生米ミルクパンとリンゴカスタード作り 上新城産のリンゴを使います。10月14日(水)10:00～12:30、1,000円、15人
②リンゴ de 燻製料理 上新城産のリンゴの枝を使います。10月17日(土)10:00～13:00、1,000円(小学生500円、就学前300円)、16人

③親子で干柿作り

敷地内の柿を収穫した後で干柿を作ります。10月18日(日)10:30～12:30、800円、12人



④縄文講座 縄文土器に紙を貼り付けて、文様などを写し取ります。10月25日(日)10:00～12:00、100円、16人

⑤ハロウィンかぼちゃアレンジ かぼちゃにデコレーションして、インテリアとして楽しめます。10月25日(日)13:00～15:00、500円(5歳以上)、14人

青少年教室 初心者そば打ち教室

39歳までのかたを優先。**日時**▶10月24日(土)10:00～13:00 **会場**▶中央市民SC調理室(市役所3階) **材料費**▶800円 **先着**▶8人 **申込**▶10月5日(月)12:00から生涯学習室☎(888)5810

はじめての多読英語

辞書を使わずに、自分のレベルにあったテキストをたくさん読んで英文に慣れ、新たな語彙を習得する多読学習法の入門講座。図書館にあるテキストを使用します。**対象**▶中学生以上のかた **日時**▶10月17日(土)、11月7日(土)、10:30～12:00(両日参加できるかた) **会場**▶ほくとライブラリー明徳館2階研修室 **先着**▶20人 **申込**▶10月4日(日)9:00からほくとライブラリー明徳館☎(832)9220

NPO・市民活動支援講座

申し込みは、10月6日(火)9:00

から市民交流サロン(アルヴェ3階)へ。☎(887)5312

◆書架整理とボランティア体験

書架整理の体験や先輩ボランティアへのインタビューなど。

対象▶小学4～6年生

日時▶11月3日(火)、①10:00～11:30、②13:30～15:00

会場▶ほくとライブラリー明徳館2階研修室 **定員**▶各8人

◆市民活動団体のためのLINE術

「LINE」の機能を理解し、情報提供のためのスキルを学びます。

対象▶市民活動を行っている、またはこれから活動を始めるかた

日時▶①11月7日(土)、②1月23日(土)、13:30～16:30

会場▶①アルヴェ4階洋室C、②アルヴェ1階音楽交流室D

定員▶各15人

佐竹史料館学習講座

講師は元県立図書館館長の半田和彦さん。テーマは「藩政期のおみやげ」。秋田藩家臣・渋江和光の日記に見られる各村の特産物などについて学びます。

日時▶10月16日(金)・23日(金)、13:30～15:30 **会場**▶ほくとライブラリー明徳館2階研修室

テキスト代▶520円 **先着**▶20人

申込▶10月5日(月)9:00から佐竹史料館☎(832)7892

写経入門

鱗勝院(旭北)の三浦昌彦住職による写経の指導と講話。**日時**▶10月22日(木)10:00～11:30 **会場**▶泉地区コミュニティセンター **先着**▶

表紙のはなし

今号の表紙は、ひさびさの大きなイベントの一つ「羽州街道歴史まつり」。このご時世、遠出ができない分、今が地元の魅力を再発見する良いチャンス！ガイドブックを手に、かつて東北の大動脈であった街道沿いを歩いて、往事の風景を想像しながら今に重ねてみてはいかが？

